

KOBE BUSSAN CO., LTD.



2022年3月18日

各 位

会社名株式会社神戸物産(コード番号:3038東証第1部)代表取締役社長沼田博和

 代表
 者名
 代表取締役社長
 沼田 博和

 問合せ先
 経営企画部 部長
 坂本 匡浩

 TEL 079-458-0339

<u>月次 IR ニュース</u>

当社の 2022 年 2 月度の個別業績についてお知らせいたします。なお、開示する実績につきましては速報値であり、監査法人による監査を受けておりませんので、四半期・本決算の数値と異なる場合は、更新時に適宜修正いたします。

記

1. 売上高・売上総利益・営業利益・経常利益の推移(神戸物産単体)

【売上高】 (単位:上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
33,248	36,745	29,582	31,076				
119.2	111.3	112.9	108.8				
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期

【売上総利益】 (単位:上/百万円 下/前年比%)

11 月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
3,415	3,640	3,035	3,278				
120.9	109.7	114.6	110.1				
5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期

【営業利益】 (単位:上/百万円 下/前年比%)

11月	12月	1月	2 月	3 月	4 月	上期	
2,220	2,423	1,711	2,116				
118.4	103.8	99.5	103.2				
5月	6月	7月	8月	9月	10 月	下期	通期
_							

【経常利益】 (単位:上/百万円 下/前年比%)

11 月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
2,236	2,672	1,739	2,232				
125.1	113.6	94.4	95.7				
5月	6月	7月	8月	9月	10 月	下期	通期

2. 業務スーパー月次出店数

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
	出店数	3	9	2	3				
直轄エリア	退店数	1	0	1	0				
	店舗数	581	590	591	594				
	出店数	2	2	1	2				
地方エリア	退店数	9	1	1	0				
	店舗数	361	362	362	364				
FC 店舗数合計	+	942	952	953	958				
直営店舗数合	直営店舗数合計		3	3	3				
総店舗数		945	955	956	961				
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期
	出店数								
直轄エリア	退店数								
	店舗数								
	出店数								
地方エリア	退店数								
	店舗数								
FC 店舗数合計									
直営店舗数合	十								
総店舗数									

■直轄エリア: 【北海道直轄】北海道

【関東直轄】東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県

【関西直轄】大阪府・京都府・兵庫県 (淡路島を除く)・奈良県・和歌山県・滋賀県

【九州直轄】福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県

■地方エリア: 上記以外の県

【出店一覧】

店名	住所
【直轄エリア】	
大和高田店	奈良県大和高田市築山 14-4
都城店	宮崎県都城市北原町28街区6号
塚口店	兵庫県尼崎市塚口本町 6-1-1
【地方エリア】	_
上田秋和店	長野県上田市秋和 354-3
三原本郷店	広島県三原市下北方 1-7-15

3. 当社から「業務スーパー」店舗への商品出荷実績(前年比)

(単位:%)

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	上期	
直轄エリア	既存店	110.2	102.4	103.1	101.1				
旦特エック	全店	116.6	108.8	109.3	107.5				
全国*	全店	118.6	110.3	111.2	108.6				
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	下期	通期
直轄エリア	既存店								
旦特エリノ	全店								
全国*	全店			. Harda (da)					

^{*}全国は直轄エリア+地方エリア店舗への商品出荷実績となります。

4. 概況

2 月度の業務スーパーの出店状況につきましては、新規出店が 5 店舗あったことで店舗数は 961 店舗となり、前年同期比で 52 店舗増加いたしました。また、引き続きテレビ番組をはじめとする各種メディアや SNS などの影響で、多くのお客様にご来店いただきました。これらの要因により、売上高が増加いたしました。

経常利益につきましては、前年同月は円安に進んだことによる為替差益等が発生しておりましたが、当月は為替変動による影響が軽微であったため、前年実績を下回りました。しかしながら、この状況は一過性のものであり、一昨年対比では134.1%と大きく伸長しております。

また、本業としての利益を示す営業利益については、この原価上昇局面においても前年対比 103.2% と増益となりました。

商品出荷実績につきましては、直轄エリア既存店への商品出荷実績は前年同期比 101.1%、直轄エリア全店への商品出荷実績は前年同期比 107.5%、全国全店への商品出荷実績は前年同期比 108.6%となり、堅調に推移しております。

商品動向につきましては、引き続き利便性の高い冷凍野菜や冷凍果物、冷凍デザート類などが伸長いたしました。

なお、業務スーパーでは3月1日(火)から4月30日(土)まで「2022年 総力祭 お買得まみれ!! 日頃のご 愛顧感謝セール」を開催しております。本セールでより多くのお客様に業務スーパーの魅力をお伝えしたいと考えております。セールの概要は業務スーパーWEBサイト(https://www.gyomusuper.jp/sale/202203_04/)で公開しております。

5. 月次 IR ニュース公表予定日

毎月25日(25日が土日祝日の場合は前営業日)を公表予定日とさせていただいておりましたが、未公表情報の滞留時間をより短縮するため、急遽、当月は18日(金)公表といたしました。

なお、今後は社内での会議体にて報告するタイミングで同日公表予定とし、3月度月次 IR ニュースにつきましては4月21日(木)を公表予定日とさせていただきます。ただし、予期せぬ理由で公表日が急遽変更となる場合がございますので予めご了承ください。

以 上